

令和6年度 事業報告

特別養護老人ホーム さくらヶ丘

短期入所生活介護事業所 さくらヶ丘

令和6年度事業報告

目次

	ページ
北山会の基本理念	1
さくらヶ丘の基本理念・運営方針	1
1. 開所 18 周年	2
2. 稼働率	2
3. 行事	
(1) 全体行事	3
(2) ユニットの行事	4
(3) 不在者投票	4
4. 健康管理	5
5. 食事	
(1) 栄養マネジメント	6
(2) 療養食加算	6
(3) 食事形態	6
(4) 献立	6
(5) 調理レクリエーション	8
(6) 嗜好調査アンケート結果	9
6. 防災・BCP	
(1) 防災及び BCP に係る訓練報告	10
(2) 消防法に基づく点検及び立入検査報告他	11
(3) 普通救命講習	11
(4) 非常食備蓄	11

7.	地域公益活動	
	(1) 地域清掃活動	12
	(2) ボランティアの受け入れ	12
	(3) 実習生の受け入れ	12
8.	家族懇談会の開催	12
9.	職員の育成のための研修の実施	12
10.	会議・委員会の開催	13
11.	ストレスチェック	13
12.	新型コロナウイルス感染症の対応	
	(1) 職員の管理	13
	(2) 入居者、利用者の管理	14
	(3) 感染予防対策	14
	(4) 新型コロナウイルス感染状況	14
13.	外国人の雇用	15
14.	福祉サービス第三者評価の受審	16
15.	主務管庁への届出・報告	
	(1) 事故報告書	19
	(2) 栄養関係	20
	(3) 時間外労働・休日労働に関する協定書	20
16.	行政指導	
	(1) 令和6年度集団指導	20
	(2) 練馬区運営指導	21
	(3) 福祉事務所立入調査	21

17. 短期入所生活介護事業所（ショートステイ）	
（1） 利用定員	22
（2） ショートステイ利用者の受け入れ区域や送迎範囲	22
（3） 平均要介護度	22
（4） 平均年齢	22
（5） 送迎回数	22
（6） 利用者負担額軽減制度の利用状況	22
（7） 生活保護受給者の利用状況	22
（8） 新規利用者数	22
（9） 空床型短期入所の利用者数	22
（10） 稼働率向上のための取り組み	22
（11） 諸行事等	22
18. 職員	
（1） 職員内訳	23
（2） 職種別内訳	23
（3） 職種別資格内訳表	24
（4） 職員の退職・採用	24
（5） 離職率	25
（6） 人員配置	25
19. さくらヶ丘管理職・指導職の役割分担表	26
20. さくらヶ丘組織図・役割分担表	28

社会福祉法人 北山会

基本理念

1. 施設の健全な環境の確保に努め、利用者様の人間性を尊重し、明るく楽しい施設運営、在宅においては利用者様が安心して生活できるように努める。
2. 社会福祉法人として社会から付託された業務を誠実に運営し、又関係法令を順守するにとどまらず、利用者本位のサービスの提供に努め、福祉の向上に寄与することを基本とする。

さくらヶ丘

基本理念

利用者様の人格を尊重し、その人らしい生活を送れるよう質の高いサービスを目指します。

運営方針

1. 利用者様が明るい家庭的な雰囲気の中で、ゆったりとした生活を送れるよう努めます。
2. 家族や地域との結びつきを重視し、開かれた施設作りに努めます。
3. 職員の知識と介護技術の向上を図り、質の高いサービスの提供に努めます。

令和 6 年度の主な取り組み

令和 6 年度は、社会福祉法人北山会の基本理念並びにさくらヶ丘の基本理念及び運営方針に基づき、次の点について重点的に事業を行いました。

1. 開所 18 周年

平成 19 年 2 月 1 日に特別養護老人ホームさくらヶ丘が開所してから、令和 7 年 2 月 1 日で 18 周年を迎えました。

特養の定員は 72 人、平均介護度は 4.2、最高年齢は 102 歳 2 ヶ月、最低年齢は 70 歳 6 ヶ月、平均年齢は 87 歳 11 ヶ月です（令和 7 年 3 月 31 日現在）。

1 年間の入退所の状況は、新規入居者 24 人（昨年度は 13 人）、退居者 30 人（昨年度は 15 人）です。

3 月末の入居者は 66 人です。

ショートステイの定員は 8 人、平均介護度は 3.4、平均年齢は 87 歳 5 ヶ月です。

面会者は、年間延べ 1,665 人（前年度は 1,189 人）、1 日平均約 4.56 人（前年度は 3.26 人）の方が面会に来られています。新型コロナウイルス感染症が、5 類感染症に移行し 1 年が経過したため、令和 6 年 6 月 1 日から面会場所を 1F 面接室から入居者の居室に変更し、面会制限を緩和いたしました。そのため、前年度と比較して面会者が増加しております。

これからもご家族や地域の皆様、ボランティアとの関わりを大切にしながら、より良いサービスの提供に努めてまいります。

2. 稼働率

令和 6 年度の稼働率目標は、特養 96%、ショートステイ 90%でした。

実績は、特養 90.90%（目標に対して 5.1%減）、ショートステイ 97.98%（目標に対して 7.98%増）となりました。

年間稼働率は対前年比では、特養は 1.71%減、ショートステイは 5.47%増となりました。

	令和 6 年度 (a)	令和 5 年度 (b)	(a) - (b)
特 養	90.90%	94.96%	△4.06%
ショートステイ	97.98%	92.52%	5.46%

特養の稼働率低下の要因は、退居者が多く出たことの影響が考えられます。特養の年間退居者数は、令和6年度が30人（前年度は15人）で前年度に比べて大幅に増加しました（前年度対比：15人増）。ショートステイは、特養の空床を積極的に利用したため、稼働率がアップしました。

3. 行事

（1）全体行事

秋祭りは、新型コロナウイルスの感染拡大に警戒が必要な状況を踏まえ、健康と安全を第一に考え、前年度同様に中止とさせていただきました。

敬老会は、前年度同様、家族を交えての「昼食会」を実施し、入居者・ご家族から大変喜ばれました。感染対策のため1家族2名までとし、37家族59名の参加がありました。

開所記念会は、面会制限中のためご家族は参加できませんでしたが、感染症対策を講じたうえで、入居者と職員だけで、例年通り行いました。

行事名	実施日時	内容
敬老会	9月16日（月） 12時00分～ 15時00分	<ul style="list-style-type: none"> ・式典、祝寿者に感謝状 ・家族を交えての食事会 敬老祝膳メニュー（赤飯、天ぷら3点盛り、赤魚の幽庵焼き、煮物盛り合わせ、ほうれん草の白和え、茶碗蒸し、紅白ゼリー、花麩のすまし汁） ・ゲーム、喫茶、お茶会
秋祭り	中止	新型コロナウイルス感染防止のため中止
開所記念会	2月1日（土） 12時00分～ 15時00分	開所記念昼食会 <ul style="list-style-type: none"> ・食事会 祝膳メニュー（握り寿司、茶碗蒸し、抹茶ババロア、のっぺい汁） ・お楽しみ会 ・喫茶

(2) ユニットの行事

4月	お花見、誕生会
5月	端午の節句、菖蒲湯、母の日、誕生会
6月	父の日、誕生会
7月	七夕、誕生会
8月	スイカ割り、カキ氷、誕生会
9月	敬老会、誕生会
10月	運動会、ハロウィン喫茶、誕生会
11月	茶話会、誕生会
12月	柚子湯、クリスマス会、誕生会
1月	新年会、新春かるた大会、誕生会
2月	開所記念会、節分（豆まき）、バレンタイン喫茶、誕生会
3月	ひな祭り、お花見散歩、誕生会

(3) 不在者投票

執行された選挙

- 東京都知事選挙、東京都議会議員補欠選挙

投票日： 令和6年7月7日（日）

不在者投票期間： 令和6年6月21日（金）～7月6日（土）

不在者投票実施日： 令和6年7月1日（月）

場所： 特別養護老人ホームさくらヶ丘 各居室

投票者数： 12人

- 衆議院（小選挙区選出・比例代表選出）議員選挙

投票日： 令和6年10月27日（日）

不在者投票期間： 令和6年10月16日（水）～10月26日（土）

不在者投票実施日： 令和6年10月24日（木）

場所： 特別養護老人ホームさくらヶ丘 3階交流ホール

投票者数： 11人

4. 健康管理

令和6年4月から協力医療機関の変更を行いました。変更した医療機関は、往診を中心とした在宅医療専門のクリニックのため、入居者の病状が急変した場合、24時間365日相談対応を行う体制や必要に応じて、診療を行う体制が常時確保されました。また施設でも看取り時に24時間体制で死亡診断を行える体制も整えられました。いつでも医師に相談できる体制となり、特にオンコール担当の看護職員の負担が軽減されました。

入居者の健康状態を他職種と協働しながら正確に把握し、嘱託医には入居者の状態像を回診日の2日前にFAXで情報共有し、回診に臨むようにしています。回診には必ず薬剤師が付き添うため、薬剤師のアドバイスを受けながら、適切な処方を受けられる体制をとっております。（嘱託医による定時診察の年間診察人数：991人）

また、回診日ではない日に発熱などの急変症状などがあつた際は、嘱託医に随時電話で連絡し、指示を仰ぎ対応しました。

令和6年度の看取り件数は23件でした。以前のように居室で数日付き添うことを再開し、ご臨終の前に久しく会っていなかったご家族との面会を設けるなど、他部署の協力を得て取り組むことができました。

ワクチン接種は、インフルエンザ（接種人数：46人）に加え、新型コロナワクチン接種を嘱託医の協力により実施しました（延べ人数：39人）。

特養入居者の嘱託医以外とのかかりつけ医の受診は、延べ47人（前年度150人）でした。

短期利用者の受診ですが、かかりつけ医の往診が年々増加しています（年間の訪問診療数：19回）。これはご家族が多忙で、在宅では往診が受けられないといった理由が考えられます。

感染対策上、外部からの往診件数は少ないにこしたことはありませんが、できるだけ他の入居者・利用者と接触することのないよう、居室のない1Fや2F交流スペースでの診察を続け、往診医と同行スタッフの手指消毒・検温・マスク着用の徹底を継続していきたいと思います。

5. 食事

(1) 栄養マネジメント

特養入居者 66 人全てに栄養マネジメントを行いました。低リスク 26 人、中リスク 36 人、高リスク 4 人。前年度と比べて、低リスクが 1 人増加し、中リスクは 4 人減少、高リスクは 3 人減少しました。高リスク者 4 人のうち 1 人は入所時から褥瘡があり「高リスク」と判定し、残りの 3 人は、食事を 7 割以上摂取できているが、体重減少率で「高リスク」と判定しました。食事摂取量、体重減少率、BMI を基にリスクを判定しました。引き続き、多職種協働して、栄養管理を行ってまいります。

(2) 療養食加算

療養食加算（糖尿病食・心臓病食）は、3 人算定しています。現在、糖尿病食は 1,400kcal 制限と 1,200kcal 制限の 2 つ、心臓病食は、塩分制限を医師の指示のもとに行っています。

糖尿病食は、1,400kcal 制限が 1 人

1,200kcal 制限が 2 人

心臓病食により、塩分制限（6g 未満）が 1 人

(3) 食事形態

特養入居者の食事形態は、常食は 18 人。ご飯は 18 人。

キザミからミキサー食は、48 人。軟飯から粥ゼリーは、48 人でした。

(4) 献立

今年度も美味しい、季節感のある食事を目標にし、麺類、選択メニューは、前年に引き続き週 1 回導入してきました。

前年度に引き続き、食事時の訪問を行い、喫食状況の観察、残菜状況の把握、嗜好の聞き取りなどを行い、献立に反映させるように努めました。

・行事食一覧

毎月 1 回の誕生日食の他に、季節ごとの行事に合わせた行事食を毎月提供しました。

4 月	誕生日会	赤飯、赤魚のおろし煮、ほうれん草の白和え、苺ババロア、豚汁
	お花見	桜ご飯、鶏天～磯風味～ほうれん草の白和え、苺、すまし汁
5 月	誕生日会	炊き込みご飯、サバの塩焼き、れんこんのきんぴら、メロン、味噌汁
	母の日	チキンライスふわふわ卵のせ、ツナサラダ、コーヒーゼリー、クラムチャウダー
6 月	誕生日会	赤飯、赤魚の幽庵焼き、かぼちゃサラダ、茶碗蒸し、抹茶ババロア、豆乳味噌汁
	父の日	ひじきご飯、鮭の塩焼き、タラモサラダ、メロン、すまし汁
7 月	誕生日会	チキンマカロニグラタン、ミモザサラダ、コーヒーゼリー、野菜スープ
	七夕	七夕そうめん、松風焼き、ほうれん草の白和え、フルーツカクテル
	土用の丑の日	うな丼、卵焼き、ほうれん草のお浸し、オレンジゼリー、すまし汁
8 月	誕生日会	ゆかりご飯、鮭の塩麹焼き、サツマイモとひじきの煮物、スイカ、豚汁
	お盆	赤飯、豆腐とカニ炒め煮、れんこんきんぴら、ずんだおはぎ、豚汁
9 月	誕生日会	チャーハン、肉焼売、ほうれん草のナムル、ヨーグルトババロア、春雨スープ
	敬老の日	赤飯、天ぷら 3 点盛り、煮物盛り合わせ、ほうれん草の白和え、赤魚の幽庵焼き、茶碗蒸し、紅白ゼリー、すまし汁
	お彼岸	ご飯、ハンバーグきのこあんかけ、小松菜のしらす和え、おはぎ、豚汁
10 月	誕生日会	炊き込みご飯、鶏の和風マヨ焼き、冬瓜のカニあんかけ、抹茶ババロア、のっぺい汁
	スポーツの日	ゆかりご飯、サワラのネギ塩焼き、ほうれん草の白和え、抹茶ババロア、豚汁
11 月	誕生日会	天ぷらそば、豚肉のしそ炒め、なます、抹茶ゼリー
	勤労感謝の日	栗ご飯、鶏の塩麹焼き、冬瓜そぼろ煮、抹茶ババロア、味噌汁
12 月	誕生日会	赤飯、鮭の西京焼き、鶏と茄子炒め、カスタード和え、味噌汁
	クリスマス	チキンライス、クリームシチュー、ブロッコリーサラダ、コーヒーゼリー
	大晦日	年越しそば、れんこんきんぴら、抹茶ババロア

1月	お正月 (1~3日)	赤飯、おせち料理、野菜雑炊、ちらし寿司、天ぷら、茶碗蒸し、 ポークカレー
	七草	七草粥、サワラのゴマ味噌焼き、マカロニサラダ、あずきミルクバ バロア、豚汁
	小正月	小豆粥、サンマの塩焼き、刻み昆布煮、ピーチゼリー、すまし汁
2月	開所記念日	握り寿司、茶碗蒸し、抹茶ババロア、のっぺい汁
	節分	大豆ご飯、鶏のねぎ塩焼き、もやし炒め、カスタード和え、味噌汁
	バレンタイン	けんちんうどん、ツナポテトサラダ、チョコババロア
3月	誕生会	炊き込みご飯、鮭の西京焼き、野菜の卵とじ、苺、のっぺい汁
	ひな祭り	ちらし寿司、ホキの磯揚げ、ほうれん草の白和え、水饅頭風、すま し汁
	お彼岸	ご飯、鮭のネギ塩焼き、大豆サラダ、おはぎ、味噌汁

(5) 調理レクリエーション

入居者様と一緒に簡単なおやつを作る調理レクリエーションを年13回実施しまし
た。

実施日	内容
4月30日	ひまわりユニットでフルーチェを作る。
5月18日	もみじユニットでチョコポップ風鈴カステラを作る。
6月9日	うめユニットでフルーツパンケーキを作る。
7月7日	きくユニットでサイダーゼリーバニラアイス添えを作 る。
7月21日	さくらユニットで苺のショートケーキ風を作る。
7月22日	やまゆりユニットでチョコレートパンケーキを作る。
8月10日	もみじユニットでかき氷を作る。
8月16日	やまゆりユニットでパフェを作る。
11月19日	さくらユニットでプリンアラモードを作る。
11月24日	福寿草ユニットでサツマイモプリンを作る。
1月12日	きくユニットでお汁粉を作る。
3月30日	福寿草ユニットで水ようかんを作る。

(6) 嗜好調査アンケート結果

実施日 令和7年1月1日～令和7年1月31日

対象者 特養入居者 72人

ショート利用者 8人

回答者 特養入居者 67人

ショート利用者 8人

記入用のアンケート用紙を配布し、入居者、利用者、ユニットスタッフによる聞き取り調査で回答をお願いしました。

集計に際しては、複数回答、空欄は無回答とみなしました。

アンケート結果

食事全体	(%)
食事を楽しみ	90.7
いいえ	4.0
無回答	5.3
回答率	100

主食の量	(%)
丁度良い	72.0
多い	14.7
少ない	6.7
無回答	6.7
回答率	100

副食の量	(%)
丁度良い	74.7
多い	12.0
少ない	6.7
無回答	6.7
回答率	100

副食の味	(%)
丁度良い	73.3
濃い	6.7
薄い	6.7
無回答	13.3
回答率	100

食事を楽しみにしていると回答した人が、12.8%増加。

主食の量が丁度良いと回答した人が、14.9%増加。

副食の量が丁度良いと回答した人が、8.5%増加。

副食の味が丁度良いと回答した人が、4.5%増加。

嗜好調査を参考にしつつ、日々の入居者様とのコミュニケーションを大事にし、嗜好を聞きだしていきたいと思えます。

行事食は、85.3%の方が、楽しみにしていると回答され、昨年より6.1%増加。

今回は、昨年に比べて良い結果が得られたと思えます。

6. 防災・BCP

(1) 防災及びBCPに係る訓練報告

防火対象物の名称	社会福祉法人 北山会 特別養護老人ホーム さくらヶ丘		
防火対象物の所在	東京都練馬区大泉学園町5丁目30番36号		
防火管理者職・氏名	施設長 小河 耕一郎		
問い合わせ先	電話 03-3978-1094 FAX 03-3978-1093		
	日時	訓練内容	訓練概要
施設 内 訓 練 容	令和6年4月19日(金)	消火器・消火栓 操作訓練	消火器・消火栓操作訓練(業者の指導による操作訓練)
	令和6年5月17日(金)	総合訓練	日勤体制時2階(さくらキッチン)からの出火を想定した全体での訓練
	令和6年6月21日(金)	大規模災害発生時 炊き出し訓練	大規模災害発生時、大型炊き出し機操作訓練、発電機操作訓練
	令和6年7月19日(金)	普通救命講習	施設内で石神井消防署による普通救命講習を実施
	令和6年7月24日(水)	119番通報、 消防用設備等取扱	石神井高齢者福祉施設等自衛消防連絡会実務講習会への参加
	令和6年8月16日(金)	感染症対策 実地訓練	感染症発生時の標準予防策の実地訓練
	令和6年9月18日(水)	総合訓練	光陽苑夜間大規模防災訓練の見学
	令和6年9月26日(木)	大規模災害発生時 机上訓練	大規模災害発生時机上訓練実施
	令和6年11月15日(金)	総合訓練	日勤体制時3階(ひまわりキッチン)からの出火を想定した全体での訓練
	令和6年12月20日(金)	夜勤体制時 総合訓練	夜勤体制時4階(もみじキッチン)からの出火を想定した全体での訓練
	令和7年2月21日(金)	大規模災害発生時 初期行動訓練	大規模災害発生時初期行動訓練実施
	令和7年3月21日(金)	夜勤体制時 総合訓練	夜勤体制時3階(福寿草キッチン)からの出火を想定した全体での訓練

(2) 消防法に基づく点検及び立入検査報告他

① 消防法に基づく点検

令和7年2月27日 消防用設備等（特殊消防用設備等）
点検種別：機器点検・総合点検
点検者：赤城工業株式会社

② 石神井消防署管内事業所による自衛消防連絡会実務講習会

令和6年7月24日 石神井高齢者福祉施設等自衛消防連絡会
実務講習会への参加

(3) 普通救命講習

主催：公益財団法人 東京防災救急協会
実施日：令和6年7月19日（金）13:00～16:00
実施場所：特別養護老人ホームさくらヶ丘 3F 交流ホール
参加人数：14名

(4) 非常食備蓄

- 非常食：入居者80人、職員20人として、3日分あり。

カゴメ野菜 1日これ1本：270缶

レトルトクッキー：100個

フォー：100食

えいようかん：100個

ほたて粥：90食

梅粥：40食

鮭粥：50食

野菜入りお粥：72食

わかめご飯：100食

青菜ご飯：100食

ホワイトシチューリゾット：100食

ユニフーズ 玉子丼：80食

ユニフーズ カレーライス：80食

ユニフーズ ハヤシライス：80食

- 飲料水：入居者80人、職員20人として、3日分あり。

(2L×6本) 75ケース

- 調理水：(2L×6本) 26ケース

7. 地域公益活動

(1) 地域清掃活動

平成 27 年度から開始した地域清掃活動は、引き続き各部所の職員が毎週 1 回集まって、施設の近隣道路の清掃活動を行いました。雨天以外毎週月曜日に実施し、合計 38 回、延参加人数 201 人（前年度は 174 人）の職員が参加しました。

(2) ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、受け入れを中止しました。

(3) 実習生の受け入れ

練馬区立大泉学園中学校の地元の中学生を受け入れ、年間延 2 日、延 16 人の方々と地域交流を行いました。

8. 家族懇談会の開催

令和 6 年 6 月 23 日(日)に家族懇談会を開催しました。ご家族の参加者は 8 人。施設からは施設長、事務長、事務次長、生活相談主任、管理栄養士、看護師、機能訓練指導員、介護課長、ユニットリーダーが出席し、各自が挨拶と所信を述べました。

令和 6 年度から協力医療機関を変更したため、嘱託医にも参加していただき、ご家族への説明を行い、医療面での質疑応答を行いました。

9. 職員の育成のための研修の実施

令和 6 年度は、前年度同様外部研修は、実施方法がオンラインによる Web セミナー形式と参集形式となりました（総回数：45 回 延べ人数：52 人）。

施設職員が講師となって行う内部研修は、例年通り、感染症防止、褥瘡予防、看取り、個人情報保護、身体拘束廃止、事故発生防止、虐待発生防止などの研修に取り組みました（総回数：14 回 延参加人数：152 人）。

新入職員研修は、入職後すぐに、事故発生防止、身体拘束廃止、虐待発生防止、接遇、感染症防止、看取り、大規模災害、安全衛生等の研修を実施しました（総回数：11 回 延参加人数：7 人）。

10. 会議・委員会の開催

幹部会議（開催数：20回）、サービス担当者会議（開催数：82回）、身体拘束廃止委員会（開催数：4回）、事故発生防止委員会（開催数：2回）、感染症防止委員会（開催数：6回）、虐待発生防止委員会（開催数：5回）、褥瘡予防対策委員会（開催数：4回）、生産性向上委員会（開催数：2回）、衛生委員会（開催数：12回）、給食委員会（開催数：8回）、広報委員会（開催数：9回）、入所検討委員会（開催数：23回）を計画に沿って開催しました。

11. ストレスチェック

改正労働安全衛生法により、「ストレスチェックと面接指導の実施等を義務づける制度」が創設され、平成28年度から心理的な負担の程度を把握するためのストレスチェック調査を継続して実施しております。

令和6年度のストレスチェック結果は、次の通りです。

- ・受検者：52人（前年度53人）
- ・高ストレス者：8人（前年度5人）

12. 新型コロナウイルス感染症の対応

（1） 職員の管理

- ・令和2年2月28日より職員の毎日の健康チェックを実施。出勤時、退勤時には非接触型体温計で体温測定を行い、体温と症状の有無を記録表に記入
- ・アルコールでの手指消毒は、出勤時及び介助時の適宜の手洗いとアルコール消毒の徹底
- ・マスク（施設提供）は、顔に密着させた正しいつけ方で常時着用
- ・職員が発熱した場合、休ませて病院受診か抗原検査を実施。職員の同居家族が発熱した場合も、できるだけ病院受診か、抗原検査を実施する。
- ・会議での密を避けるため、開催場所を集会室から交流ホールに変更。開催回数を減らす（月2回）。
- ・職員の防護服の着用、着脱手順の研修実施
- ・休憩室で休憩ごとの換気
- ・食事時の黙食の徹底（マスクを外しておしゃべりをしない）

(2) 入居者、利用者の管理

- 新入居後、病院受診後、退院後、有症状時に一定期間個室隔離
- マスクの使用が可能な入居者様の適宜着用
- 必要に応じ、食堂におけるソーシャルディスタンスの確保

(3) 感染予防対策

- 定期的な換気
- 共用部分（ドアノブ、ベッド柵、手すり、コピー機、電子錠、スイッチ、エレベーターボタン、テーブル等）を適宜アルコール消毒
- ショートステイユニットに業務用加湿器（高度清浄加湿装置）を設置
- 全館には既にオゾン発生装置を設置してありますが、小型オゾン除菌消臭機（全国700台以上の救急車に搭載）を適宜使用
- ご家族の面会は、6月より入居者居室で月1～2回までの予約制
- 面会者記帳カード（入館時に受付で記入するもの）に最近2週間の発熱、風邪症状や陽性者との濃厚接触の有無、渡航歴等を申告する項目をチェック確認
- 物資の確保
- 施設内に入館する業者や家族等にアルコール消毒、検温、マスク着用を徹底

(4) 新型コロナウイルス感染状況

令和2年度から令和3年度までは、特養の入居者とショートステイの利用者には感染はありませんでした。

令和4年度中は、入居者13人、職員28人（厨房の委託職員含む）、合計41人が感染しました。

令和5年度中は、入居者4人、職員20人（厨房の委託職員含む）、合計24人が感染しました。

令和6年度中は、入居者24人、職員16人、合計40人が感染しました。

入居者で感染者が発生したユニットは、感染区画として完全に隔離し、感染拡大の防止に努めました。

13. 外国人の雇用

令和6年度は、介護人材の人手不足に対応するため、特定技能1号（特定産業分野：介護）のベトナム人を新たに1人採用しました。令和2年度から正規職員として勤務している特定技能1号のベトナム人を合わせると7人になりました。特定技能1号は、正規職員と同様にフルタイムで勤務が可能で、在留期間は更新して通算で上限5年です。

また、介護専門学校に就学しながら、非常勤として勤務し、その後専門学校を卒業後、常勤介護職員として勤務しているベトナム人が4人在籍しております。他に介護専門学校を卒業後、新卒の常勤介護職員として採用したベトナム人が1人在籍しております。

令和7年3月31日時点で、ベトナム人の職員は12人です。

14. 福祉サービス第三者評価の受審

東京都から第三者評価機関として認定されている特定非営利活動法人日本ライフサポーター協会による福祉サービス第三者評価を受審しました。

契 約 日	令和 6 年 8 月 8 日
利用者調査実施日	令和 6 年 10 月 25 日
訪問調査日	令和 7 年 2 月 26 日
評価合議日	令和 7 年 3 月 19 日

全体の評価講評

特に良いと思う点

<p>在宅医療専門の協力医療機関との連携により、24 時間 365 日必要に応じて専門医の往診を受けられる体制が確保されている</p> <p>新たな協力医療機関は在宅医療専門のクリニックで、内科をはじめ各種診療科目の専門医が在籍しており、入居者は必要に応じて専門医の往診を受けることができる。そのため入居者が医療機関に外来受診する機会が減り、入居者のみならず家族・職員の負担も軽減された。また、入居者の病状が急変した場合や看取り介護の段階などにおいて、24 時間 365 日いつでも医師に連絡・相談し、往診・診断を受けることも可能となったため、夜間オンコール担当の看護職員はじめ職員の精神的負担が軽減され、より安心して入居者への支援に当たれるようになった。</p>
<p>職員の間関係や仕事上の連携がよく、ユニット方式のねらいに沿ったきめ細かなケアが行われている</p> <p>施設長の入居者・職員を尊重する姿勢が職員それぞれの仕事や専門性をお互いを認め合う風土になっており、多職種の間関係や連携の良さが自然に生まれている。職員はユニットケアの理念である「少人数の家庭的な雰囲気の中で、ゆったりとした生活が送れるよう」に努めている。入居者本位のケアを心掛け、自分らしく生活できるよう、意に沿わないことは無理強いせず、気持ちの変化を待ちながら気長に支援している。令和 6 年度第三者評価の職員調査では「職員同士思いやりがある」とのコメントがあり、職員関係の良さがうかがえる。</p>
<p>地域公益活動の一環として、令和 5 年度、練馬区民向けに、高齢者サービス・高齢者施設についての勉強会を実施した</p> <p>家族・地域との結びつきを重視し、開かれた施設づくりに努めることを運営方針として、様々な活動を行っている。令和 6 年度は、当施設を会場として、練馬区区議会議員と介護支援専門員が行う区民対象の介護勉強会を開催した。勉強会では施設長が高齢者入所施設の種類と特徴、提供されるサービスや料金などを説明し、質疑応答も行った。近隣の地域包括支援センター職員も介護保険の説明を行い、その後施設見学会を行った。また、当勉強会とは別に、練馬区の「介護の日」の記念フェスにおいて、施設長が施設サービスについて区民向け講義を行った。</p>

さらなる改善が望まれる点

地域住民との交流の機会が少くなっており、来年度は秋祭り実行委員会を立ち上げるなど、開催に向けて準備を行うことが望まれる

秋祭りは、地域交流の重要イベントのひとつとして位置づけており、入居者が家族と一緒に模擬店やバザーなどで買い物をしたりするなど、祭りの雰囲気を楽しめる行事である。また、地域の方の参加や協力を得て交流を持ち、施設にとって入居者が地域の一員として楽しく交流を図る機会となっていた。感染症対策のために令和2年度から現在に至る6年度まで秋祭りの開催については慎重を期して取り止めたため、地域住民との交流の機会がほとんど無くなっている。来年度は秋祭り実行委員会を立ち上げるなど、開催に向けて準備を行うよう期待したい。

インターネット利用の研修受講が現場でいつでもできる環境が整えられた。職員の資質向上を図る効果的な今後の運用に期待したい

PCのリース契約満了を機にPCの更新を行った。介護支援ソフトがインストールされたPCは、これまでセキュリティの観点からインターネットに接続していなかったが、今般、不正な通信を検知・遮断する機器を導入してセキュリティ対策を強化し、全PCをインターネット利用可能な状態にした。この変更により、介護職員が、可能な時にはいつでも現場のPCで動画視聴型の研修を受講できる環境が整った。施設では、今後積極的に動画視聴型研修を利用する計画で、研修内容の検討・履修管理等を行い、職員の資質向上を図る効果的な運用に期待したい。

大規模災害発生時に有効な行動がとれるよう、計画している研修参加を行うなど、施設の研修・訓練の充実を図ることを期待したい

令和6年度の介護報酬改定により、居住系・施設系サービスでは事業継続計画（BCP）の訓練と研修を年2回以上実施することが義務付けられた。当施設はBCPに併せて具体的な行動マニュアルも作成し、令和5年度は大規模災害発生時防災訓練を実施した。6年度は、机上訓練・初期行動訓練・炊き出し訓練を計画しさらに充実させた。施設は、訓練等に関する様々な研修が外部で開催されていることから、研修に参加して方法を学び、より実用的な訓練と研修を実施していきたいと考えている。BCPの実効性を高めるための訓練・研修の充実に期待したい。

利用者調査結果

調査概要

• **調査対象**： 聞き取り可能な入居者について施設と協議し、入居者 67 名の中から 10 名を選んだ。内訳は男性 2 名、女性 8 名。70～75 歳未満 1 名、75～80 歳未満 1 名、80～85 歳未満 2 名、85～90 歳未満 4 名、90 歳以上 2 名。要介護度 3 が 3 名、4 が 6 名、5 が 1 名。

• **調査方法**： 聞き取り方式

聞き取りは各入居者の居室に伺い、入居者がリラックスできる状態でゆっくり時間をかけて行った。聞き取りに当たっては、質問をかみ砕いて分かりやすく丁寧に行うことを心掛けた。コロナウイルス等の感染防止を図るため評価者はマスクを着用し、居室の換気も充分していただいた。

利用者総数： 67 人

共通評価項目による調査対象者数： 10 人

共通評価項目による調査の有効回答者数： 10 人

利用者総数に対する回答者割合（%）： 14.9%

調査結果全体のコメント

施設への総合的な評価は、10 名中「大変満足」が 5 名、「満足」が 5 名で、「どちらともいえない」「不満」「大変不満」は無かった。10 名全員が「大変満足」「満足」で、100%が満足という評価であった。

項目別では、10 名全員が「はい」と答えた項目は 14 問中 3 問あった。それは、問 7「けが・体調不良への対応」、問 8「利用者同士のトラブルへの対応」、問 10「プライバシー」で、大変よい評価であった。次いで評価が高かったのは、問 5「施設内の整理・整頓」、問 6「職員の接遇・態度」で、9 名が「はい」と答え、「いいえ」の回答は無かった。

「いいえ」の回答が多かったのは、問 11「個別計画作成時の要望の聞き取り」、問 12「サービス内容・計画に関する職員説明」、問 14「第三者に相談できることの説明」の 3 項目であった。

以上のとおり、個別の質問項目においても満足度が高いことがうかがわれた。

15. 主務管庁への届出・報告

(1) 事故報告書

提出先：練馬区 大泉総合福祉事務所

- 88歳 女性 左大腿骨頸部骨折
発生日時 令和6年10月30日 6時40分頃
第一報報告日 令和6年11月3日
最終報告日 令和6年12月12日

- 97歳 女性 疥癬 他利用者3名、職員1名
発生日時 令和6年11月14日 15時00分頃
第一報報告日 令和6年11月19日
第二報報告日 令和6年12月25日
最終報告日 令和7年1月6日

- 92歳 女性 腰椎圧迫骨折
発生日時 令和6年11月19日 11時00分頃
第一報報告日 令和6年11月22日
最終報告日 令和6年12月23日

- 92歳 女性 新型コロナウイルス感染症 他利用者17名、職員11名
発生日時 令和6年12月17日 13時20分頃
第一報報告日 令和6年12月25日
最終報告日 令和7年1月13日

- 71歳 女性 内服中止
発生日時 令和7年1月19日 16時00分頃
第一報報告日 令和7年2月6日
最終報告日 令和7年2月6日

- 87歳 女性 内服中止
発生日時 令和6年10月5日 15時00分頃
第一報報告日 令和7年3月16日
最終報告日 令和7年3月16日

- 92歳 女性 内服中止

発生日時 令和6年12月1日 11時00分頃
第一報報告日 令和7年3月16日
最終報告日 令和7年3月16日

(2) 栄養関係

① 栄養管理報告書

提出先：練馬区健康部 健康推進課栄養食育係

令和6年5月分、11月分

提出日：令和6年6月5日（水）、令和6年12月10日（火）

② 給食施設状況報告書

提出先：練馬区健康部 健康推進課栄養食育係

提出日：令和7年3月12日（水）

(3) 時間外労働・休日労働に関する協定書

・提出先：池袋労働基準監督署

提出日：令和7年3月12日（水）

16. 行政指導

(1) 令和6年度集団指導

- ・受講日時：令和7年2月2日～9日
主催：東京都福祉保健局
対象事業所：指定介護老人福祉施設
実施方法：インターネットで配信する動画視聴
- ・受講日時：令和7年2月14日～15日
主催：東京都福祉保健局
対象事業所：短期入所生活介護
実施方法：インターネットで配信する動画視聴

(2) 練馬区運営指導

- 運営指導日時 : 令和6年10月16日(水) 9:30~18:00
練馬区指導担当: 指導検査担当課介護サービス検査係 6人
福祉部指導検査担当課社会福祉法人係 1人
指定市町村事務受託法人 調査員 1人
- 実地指導結果 : 令和7年2月4日(火)
改善項目: 運営に関すること
 - 1 計画担当介護支援専門員の責務等(施設サービス計画の作成)について
 - 2 入退所について
 - 3 指定短期入所生活介護の取扱方針について
- 改善状況報告書提出 : 令和7年3月5日(水)

(3) 福祉事務所立入調査

- 「練馬区養介護施設従事者等による高齢者虐待対応に関する実施要綱」に基づく訪問調査
立入調査日時 : 令和6年12月5日(木)、16日(月)、26日(木)
: 令和7年1月16日(木)、31日(金)
調査担当者 : 練馬区 福祉部 大泉総合福祉事務所 高齢者支援係 2人
調査内容
 - ① 職員からの聴き取り
 - ② 関係書類の確認
 - ③ その他関連する事項
- 訪問調査の実施結果 : 令和7年2月26日(水)
 - 1、調査結果について
訪問調査の結果、貴施設における高齢者虐待の事実が確認されました。また、虐待の事実は認められないものの一部職員の対応に不適切な面がありました。
 - 2、取組を求める事項
貴施設における高齢者虐待の解消はもとより、入所者の権利擁護を推進するために、以下の事項の取組を求めます。
 - (1) 入所者個々に対する支援方針の周知徹底
 - (2) 職員間の情報共有の徹底
 - (3) 施設従事者による虐待疑いの相談報告の周知徹底について
 - (4) 記録について
 - (5) 職員の言葉遣いについて

17. 短期入所生活介護事業所（ショートステイ）

（１）利用定員

- ・短期入所生活介護事業所（ショートステイ）利用定員：８人
- ・特別養護老人ホームさくらヶ丘の空床利用定員：３人

（２）ショートステイ利用者の受け入れ区域や送迎範囲

- ・練馬区全域（練馬区周辺の市区町村からの受け入れはなし）

（３）平均要介護度

- ・平均：3.4（男：3.1 女：3.5）

（４）平均年齢

- ・平均：87歳5ヶ月（男：85歳9ヶ月 女：88歳1ヶ月）

（５）送迎回数

- ・合計637回（迎え322回 送り315回）

（６）利用者負担額軽減制度の利用状況

- ・合計延べ利用者人数：22人

（７）生活保護受給者の利用状況

- ・合計延べ利用者人数：16人

（８）新規利用者数

- ・合計人数：37人

（９）空床型短期入所の利用者数

- ・合計人数：38人

（10）稼働率向上のための取り組み

- ・ホームページの更新
- ・営業活動、統計資料の作成、情報収集

（11）諸行事等

諸行事等は、特養と同じ内容で実施しました。

18. 職員

(1) 職員内訳

令和7年3月31日現在

	全体(人)		男性(人)	女性(人)
	人数	割合	人数	人数
合計	78	(100%)	25 (32.1%)	53 (67.9%)
正規職員	49	(62.8%)	21	28
契約職員	0	(0%)	0	0
非常勤職員	29	(37.2%)	4	25
派遣職員	0	(0%)	0	0

(2) 職種別内訳(※カッコ書きは、常勤換算人数)

	全体		男性	女性
	人数	割合	人数	人数
合計(延べ人数)	78		78人	53人
合計(常勤換算)	(64.77)		(64.77)	(41.33)
施設長	1	正規	1	0
看護職員	5(4.47)	正規	4 (3.63)	1(0.63)
		非常勤	1 (0.84)	0
		派遣	0	0
介護職員	56 (47.30)	正規	35	17
		契約	0	0
		非常勤	21 (12.30)	2(1.20)
		派遣	0	0
看護・介護職員の合計	61 (51.77)		61 (51.77)	41 (32.94)
介護支援専門員兼 生活相談員	3	正規	3	0
		非常勤	0	0
管理栄養士	1	正規	1	0
機能訓練指導員	1	正規	1	0
事務	5 (4.13)	正規	4	2
		非常勤	1 (0.13)	0
宿直	1 (1.00)	非常勤	1 (1.00)	0

清 掃	4 (1.30)	非常勤	4 (1.30)	1 (0.31)	3 (0.99)
介 護 補 助	1 (0.27)	非常勤	1 (0.27)	0	1 (0.27)

(3) 職種別資格内訳表

令和7年3月31日現在

職 種	資 格	人数 (人)	実人員数 (人)
生活相談員	社会福祉士	1	3
	介護支援専門員	3	
介護職員	介護福祉士	33	56
	実務者研修修了	14	
	ヘルパー1級	0	
	初任者研修 (NPA - 2 級)	7	
	認知症介護基礎研修	2	
看護職員	看護師	2	5
	准看護師	3	
栄養士	管理栄養士	1	1
機能訓練指導員	あん摩マッサージ指圧師	1	1
その他		12	12
合計			78

※生活相談員は、介護支援専門員を兼務

(4) 職員の退職・採用

職員の退職及び採用状況は次の通りです。

職 種	雇用形態別	退 職 (人)	採 用 (人)
合計		8	10
介護職員	正規	2	3
	契約	0	0
	非常勤	2	2
	小計	4	5
看護職員	正規	1	1
	契約	0	0
	非常勤	0	0
	小計	1	1
生活相談員兼 介護支援専門員	正規	1	1
	非常勤	0	0
事務職員	常勤	1	0
	非常勤	0	0
清掃員	非常勤	0	1
介護助手	非常勤	1	2

(5) 離職率

年度初めの令和6年4月1日時点で、全職員数は74人(休職者除く)でした。そのうち8人が退職し、10人を採用し、令和7年3月31日現在の派遣を除く職員数は78人(休職者除く)でした。

職員の離職率は、10.8%でした(令和5年度の離職率は13%)。

(6) 人員配置

国が定める「特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準」において、介護職員及び看護職員の総数は、常勤換算方法で、入所者の数が3又はその端数を増すごとに1以上とすることと定められております(職員1人当たりの利用者数3人)。

当施設の場合、必要とされる介護職員及び看護職員の人員数は、27人です。当施設の令和7年3月31日現在の介護職員及び看護職員の総数は、常勤換算方法では51.77人で、国の配置基準の1.91倍の人員を配置しています(職員1人当たりの利用者数1.54人)。

19. さくらヶ丘管理職・指導職の役割分担表

令和7年3月31日現在

施設長	小河耕一郎	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設運営の総括 ◆事務総括 <li style="padding-left: 20px;">総務管理・人事管理・経理管理
事務長	井崎昌孝	<ul style="list-style-type: none"> ◆事務全般の管理 <li style="padding-left: 20px;">総務管理・人事管理・経理管理 ◆職員全般の管理・監督・指導 ◆看護職員の指揮、命令、勤怠、育成 ◆人事考課（看護職員の一次評価、生活相談室職員、事務室職員、ユニットリーダーの二次評価） ◆マーケティング・営業 ◆研修 ◆地域公益活動
事務次長	大久保直樹	<ul style="list-style-type: none"> ◆事務全般の管理 <li style="padding-left: 20px;">総務管理・経理管理・文書管理 ◆事務室職員の管理・監督・指導 ◆事務室職員の指揮、命令、勤怠、育成 ◆勤務シフト表の作成 ◆人事考課（事務室職員の一次評価） ◆他部門との連絡、調整 ◆研修 ◆地域公益活動
生活相談員主任	三好直美	<ul style="list-style-type: none"> ◆生活相談室職員の指揮、命令、勤怠、育成 ◆勤務シフト表の作成 ◆人事考課（生活相談室職員の一次評価） ◆入居者・ショートステイの利用者の介護、生活支援に関すること ◆入居者・ショートステイの利用者家族からの介護、生活支援に関する相談 ◆他部門との連絡、調整 ◆研修 ◆地域公益活動
管理栄養士主任	齊木香織	<ul style="list-style-type: none"> ◆栄養管理、厨房施設設備消耗品管理、備蓄品管理、入所者食数管理、栄養マネジメント、栄養指導 ◆食に関する帳票関係の作成、保健所との連絡調整 ◆委託業者への指導・窓口業務（献立・調理、作業管理、衛生管理） ◆給食委員会開催 ◆研修 ◆地域公益活動

介護課長	鈴木義明	<ul style="list-style-type: none"> ◆全フロア全般の管理・監督・指導 ◆ユニットリーダーの指揮、命令、勤怠、育成 ◆人事考課（介護職員の二次評価、ユニットリーダーの一次評価） ◆ユニット間の連絡、勤務シフト調整 ◆委員会の開催・研修 ◆イベント（行事）の企画・実施 ◆地域公益活動
ユニット リーダー	2階 大竹めぐみ 橋村彩 神場美由紀	<ul style="list-style-type: none"> ◆ユニット全般の管理・監督・指導 ◆介護職員の指揮、命令、勤怠、育成 ◆ユニットの勤務シフト表の作成・勤務シフト調整
	3階 塩崎直美 阿萬菜緒美 鈴木溪太	<ul style="list-style-type: none"> ◆人事考課（介護職員の一次評価） ◆新入職員の指導・育成
	4階 平田剛幸 仲澤一馬	<ul style="list-style-type: none"> ◆ユニット会議の開催、内部研修の開催、文書管理 ◆イベント（行事）の企画・実施 ◆地域公益活動

